

2022 3

本誌主催 絵画コンクール

# デビュー

美術新人賞

2022年入選27作家+10年のあゆみ

# 月刊 美術

No.558

Since 1975



桜月夜 森田りえ子



《踊らにゃ損損》 112×146cm ダーマトグラフ

## 北川麻衣子

### モノクロームで描く幻想世界



またわ・まいこ  
1983年埼玉県生まれ。  
2012年東京藝術大学  
大学院油画研究室博  
士課程修了。

変幻自在に姿を変える動植物が主人公となって森のなかで展開される、物語のような北川麻衣子の絵画世界。白は光を放ち黒は漆のような艶をまとい、階調のグラデーションもまた美しい。想像力と描画技術が紡ぎ出す独自の世界は、生あるものへの深い愛情に満ち溢れ、見るものを感動へと誘う。

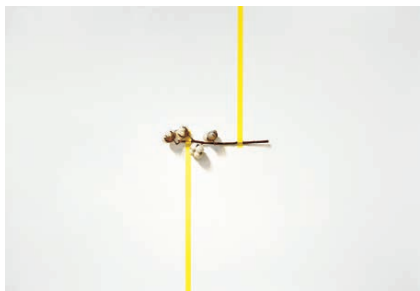
## 山本大也

### 抽象性を秘める トロンプ・ルイユ



やまもと・だいや  
1986年奈良県生まれ。20  
12年広島市立大学院絵画  
専攻博士前期課程修了。

目の前にあるかのような不思議な錯覚を抱かせる西洋の伝統技法「トロンプ・ルイユ」で制作する山本大也。真白く広い空間に一輪の小さな花を描いたり、細い糸や小さな釘といった線や点にパターンなどの抽象的要素も描き入れて画面に秩序をもたらす。モチーフの絶妙なバランスと配置により新しい画風を展開する。洗練された簡素な画面に清々しさが際立つ。



《コットン電光石線図》 112×162cm 油彩、他

## 吉川民仁

### 交響する色彩の絵画空間



よしかわ・たみひと  
1965年千葉県生まれ。  
91年武蔵野美術大学  
大学院造形研究科油絵  
コース修士課程修了。  
2018年～武蔵野美術  
大学教授（～現在）。

2016年ギャラリーためながフランスでの展覧会で高く評価され、内外から活躍が期待される注目の画家。四季折々に変化する風や光の様相に触発されて詩情豊かな絵画空間を創りだす。左官ごてを用いて絵具を伸ばし、色を重ねたキャンバスをひっかき、削る。あるいはペインティング・ナイフに少量の絵具をとり画面に投げ付け、鮮やかな絵具をキャンバスに点在させる。画家の感性が生み出す自由な描線と深みのある色調は比類ない。



《花筏》 112×146cm 油彩

## Artist File N048

## 江川直也・梶岡俊幸 北川麻衣子・山本大也 吉川民仁

ギャラリーためなが  
東京都中央区銀座7-5-4  
☎03(3573)5368  
http://www.tamenaga.com

### 展示情報

西洋近代の巨匠作品とフランス画壇の作家たちを紹介する一方、近年は欧米やアジアのフェアで日本の現代作家を積極的に紹介するギャラリーためなが。今回はすでに内外で高評価の吉川民仁に加え、新進気鋭の若手4作家を加えた約20点を紹介。それぞれの独自の芸術世界を堪能する。

## 江川直也

### 落ち着きとやすらぎの自然美



えがわ・なおや  
1988年埼玉県生まれ。  
2011年京都造形芸術大  
学日本画コース卒業。19  
年山種美術館日本画ア  
ワード奨励賞受賞ほか。

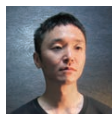
豊かな自然を表現するため長野に移り住み、伝統技法に独自の手法を加えることで、清新な風景を表現する日本画家。空から降り注ぐ陽光とそれを遮ぎることなく木立ちが美しい影を大地に描く印象的な光景など、自身がその中に身を置いて体験した雪景を静謐な作品へと結晶させる。凍てつく寒さと暖かな光の中で、作品に込められた自然の美しさと神々しさが私たちに落ち着きと安らぎを与えてくれる。



《暁光》 112×146cm 日本画

## 梶岡俊幸

### 墨で魅せる水の表情



かじおか・としゆき  
1978年東京生まれ。2005年京都  
造形芸術大学大学院修士課程修了。  
18年「The Sovereign Asian Art  
Prize」(Christie's Hong Kong)ファ  
イナリストほか。

流麗でリズムカナル線を鉛筆で書き込み、さらに墨と鉛筆を繰り返し丹念に塗り重ねていった墨一色の画面。それは隅田川で出会った水の動きに生の根源を感じ、つぶさに観察することで画家が辿りついた、秘められた水の表情。静寂の空間に佇み、わずかに動く風の流れや月明りの揺らめきを捉えた繊細な崇高さを描き出している。



《寂》 162×162cm 墨、鉛筆